

市民クラブ研修報告書

第12回全国市議会議長会研究フォーラム

開催日：平成29年11月15日(水)・16日(木)
場所：姫路文化センター
参加者：石川彰宏 山本芳男 為近初男 山崎眞幹 利根健二 小松 孝
(6名)
主催：全国市議会議長会 後援；総務省

「基調講演」 中邑 章氏 (明治大学名誉教授)
演題；議会改革の実績と議会力の向上

- 1・議会基本条例が北海道栗山町でできて10年になる
- 2・議会基本条例施行している市議会は全国で444市(54.6%)になっている
- 3・議会基本条例の意義と成果としては
 - ・他の国にない取り組みである
 - ・議会に関する意識、認識、知識の深化が図られた
 - ・議会活動の活発化がはかられた
- 4・予想される人口減少と自治体の対応としては
 - ・農村回帰、6次産業がいわれる
 - ・2040年人口問題増田レポートはあまりにも悲観過ぎる
- 5・議会の防災業務への積極対応としては
 - ・積極的にかかわり行政を監理する
 - ・災害対策の本部どうなっているかと聞く
- 6・これからの議員像
 - ・国・首長に立ち向かう議員
 - ・外部志向の強い議員
 - ・ICTを駆使できる議員
 - ・勉強する議員、族を目指す議員
 - ・昔を振り返らない議員

パネルディスカッション

パネラー

大山礼子(駒澤大学法学部教授)・金井利之(東京大学大学院法学政治学研究科)

教授)

新川達郎 [同社大学大学院総合政策科学研究科・政策学部教授]

川西忠信 (姫路市議会議長) の4名が登壇し討議

1・議会の改革意欲は住民に届いてない

議員定数削減と経費削減ばかりが改革の目的とされている

住民としては今後の方向性が聞きたい

2・地方議会の将来を考える

議員の人材については今まで政治教育ができてないので原点から考えるべきである

選挙制度を考え直してみても (大選挙区制問題あり)

全体的な魅力を取り入れる

課題討議

目黒章三郎 [会津若松市議会議長]・豊田政典 [四日市市議会議長]・盛 泰子 [伊万里市議会前議長] 討論

どこの議会も似た課題をもっている。今回の研修では実際に経験したことが報告され議会改革の難しさ、矛盾点が見えてきたように思う。本市の今まで行ってきた、議会改革をも一度振り返り議会とは何かとゆう事を考えてみたいと思う。

平成31年全国市議会議長会研究フォーラムは高知県で行われるとの事である

視察プログラム

基調講演

「議会改革の実績と議会力の向上 ―政策創造の立法部を考える―

中邨 章 明治大学名誉教授

パネルディスカッション

コーディネーター 人羅 格 毎日新聞論説副委員長

パネリスト 新川 達郎 同志社大学大学院総合政策科学研究科・政策学部教授

大山 礼子 駒澤大学法学部教授

金井 利之 東京大学大学院法学政治学研究科教授

川西 忠信 姫路市議会議長

課題討議

コーディネーター 新川 達郎 同志社大学大学院総合政策科学研究科・政策学部教授

事例報告者 目黒 章三郎 (会津若松市議会議長)

豊田 政典 (四日市市議会議長)

盛 泰子 (伊万里市議会前議長)

内容・所感

パネルディスカッション

- 川西姫路市議会議長によれば、会派の予算要望をまとめ、議会で執行部に対し予算議案のヒアリングを全部局に対し5日間ほどかけて行うとのことである。（議会がまとめて予算要望を出せば、執行部に対しても、より大きな力となり、議会の存在感が増すということか。）
- ①議会の信頼が全国的に落ちている。議会不要論まで飛び出す昨今、大山礼子氏は、なり手不足の現状と議員の偏り、無投票当選による民主主義の危機について問題提起した。
- ②金井利之氏は、徹底的な予算審議こそが、議会の存在感を高め、市長に対峙できる道ある。との意見。
※予算に乗らない条例・施策もあるので、どちらも大切であると思うが・・・
- ③新川達郎氏は、たゆまぬ改革の努力。条例については、体系的に俯瞰して検討することが重要である。との意見。

課題討議

●目黒会津若松市議会議長

- ①会津若松市議会は市民意見を起点とした政策サイクルを実現していた。市民あつての市議会である。
- ②「議会改革」という言葉そのものが陳腐化しているとの指摘がある。そうであっても議会改革は、議会活性化の事始めである。
- ③議長選挙で立候補する者が、公約を掲げ、それを文章化し各会派に配るところから始めた。その動きがやがて、議長選挙での「所信表明会」の実施へと繋がった。

●盛伊万里市議会前議長

初当選した際、開かれた議会はどこに？といった感じを受けた。改革は重要である。

●豊田四日市市議会議長

議会だよりに、アンケートを折り込む計画を示した。香美市の議会だよりも検討すべきかも。問題は、経費である。